



# はらじゅくかわら版

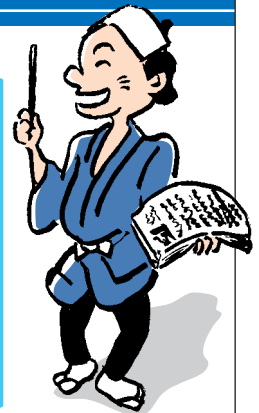
独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



院内で最初に開花するのは、ふじみ寮前の樹齢80年のさくら。今年で最後の見納めともなり、春風にただようさくらは最高の優雅な桜の舞いをみせてもらい感動もひとしおでした。副ボイラー技士長 和田 明

### 第12号 目次

さらなる飛躍の年へ	1
法人化3年目に想う	2
<b>地域医療連携</b>	
病診連携施設紹介	3
地域医療連携室から - 診療報酬の改定について -	4
栄養管理チーム( NST )活動	5
<b>お知らせコーナー</b>	
医療安全管理室より	6
環状4号線開通/ボランティアの活動・募集/検討会・研究会の開催	7
<b>シリーズ</b>	
気になる病気 自然気胸/栄養表示の見方を知っていますか?	8
職場紹介 - 放射線科/消化器科	9
看護部だより	10

### 行事等紹介

感謝状贈呈 / 花苗の寄贈 / ハンドベルコンサート	11
第41回卒業式 / 第8回日本医療マネジメント学会の紹介	12
-MRI装置が更新されます-/医師の人事異動	13
患者数の動向 / 編集後記	14
外来担当医表	15

発行 月：平成18年4月  
 発行 行：独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター  
 広報委員会  
 発行責任者：高橋 俊毅  
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電 話：045-851-2621  
 F A X：045-851-3902  
 U R L：http://www.hosp.go.jp/ yokoham/

## 更なる飛躍の年へ

平成16年4月に独立行政法人国立病院機構横浜医療センターとしてスタートし、2年が経過しました。昨年は最大の懸案事項でありました老朽化した病院の建替え整備の方針決定をいただき、更に病院の整備と合せ看護学校（240人規模）の整備も決まりました。

病院建替え整備の基本方針は、現在の診療機能を維持、拡大しながら、横浜医療センターの理念でもあります「患者様中心の医療」、「地域完結型医療」、「地域で選ばれる病院」を目指し、経営改善を進め、安定した経営を進めることが新病院を整備する前提となっております。



事務部長 香西 英夫

新病院の整備場所は、現病院敷地内後方の看護師宿舎、看護学校を解体・整地した上で、その跡地に整備する方向で考えております。

その第一段階として、病院から約200mの所にあります飛地に民間活力を活用したリース看護師（職員）宿舎を71戸が完成いたしました。

4月の新採用者を中心に3月25日からフレッシュマンが入居し、診療機能向上のための担い手として活躍が期待されております。

第二段階として、看護学校の大型校（学生240人規模）の設置場所、設計を進めているところであり、今年の4月頃には看護学校整備の競争入札を行います。

工事工程としては、

看護学校設置場所にある駐車場の移転整備

看護学校の大型校（学生240人規模）整備

平成18年10月頃から院内看護師宿舎の解体

平成19年3月には看護学校を移転し、旧校舎の解体

を考えておりますが、平成19年4月の看護学校開校を最優先に整備を進める予定です。

第三段階として、現在、国立病院機構本部で新病院の基本図面を作成中ですが、基本図面をいただいた上で、新病院の設計入札を行い、整備のための届け出、許可等を約1年かけて行います。その後、新病院整備の競争入札を行い、平成22年4月新病院オープンを目指し整備に着手する予定としております。

設計のコンセプトは、「シンプルオブザベスト」で患者様中心の療養環境の向上を図り、同時に地域医療関係機関との密接な連携をもつ地域完結型医療を目指し、「地域医療支援病院」等の機能を備えた医療施設として整備（運営）することです。

一方、整備費（借入金）も今までにはないほどの節約が求められており、整備費縮小の提案型の設計となる予定です。

今後、設計等の進捗状況をみながら地域の皆様を始め、職員に順次お知らせいたしますが、新病院整備・経営基盤強化等の提案、ご意見を頂ければと思います。

ここ数年間は新病院整備の一連工事が始まり、病院に来院される皆様、地域の皆様をはじめ、職員の皆様に整備期間中は何かとご不便、ご不快をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

職員一人一人の職責が最大限発揮できるような職場環境、地域の皆様にとっても喜んでいただけるような療養環境を重視した医療施設ができるようにしたいと思っております。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 法人化3年目に想う

～変わらなければ成らないことと  
変わらないこと～



看護部長 糸川 章子

新年のご挨拶を交わして早3ヶ月が過ぎ、季(とき)は桜の開花の時節になりました。各施設、学校、会社とそれぞれ新年度をスタートされたことと思います。

横浜医療センターは平成16年4月に53年間の厚生省管轄の国立病院時代から、独立行政法人国立病院機構の一施設としてスタートしました。中期計画の中間3年目に入り過去2年間の運営等を評価し更に飛躍する時期にあります。移行前は法人化について未知や未経験から不安がありましたが、「今までと同じではいけない、何かが変わる、変わらなければ」の意識で試行錯誤して来た2年間でした。

法人化に伴い大きく意識改革しなければならなかったことは「親方日の丸」から脱皮した自前の経営意識をもって病院を経営していくことでした。職員1人1人が企業会計システムを知り、興味を持って看護業務と関連させ、看護部門からも経営に関して提案や提言が必要でした。今後も患者さまには短い入院期間で効果的な医療や看護を受けて頂くためにも、臨床で密に業務についている看護職員が経営に参画しなければならないと思います。

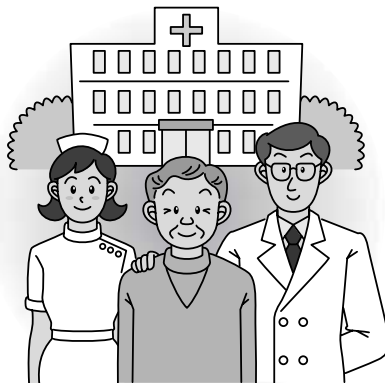
一方、法人化後も変わってはならないのは「看護の基本」と「患者さまへの思いやり」です。看護の歴史上有名な「ナイチンゲール誓詞」の精神は変わることなく受け継がれていかなければならないと思います。看護が看護者の一方的な思いで行われなかったためにも患者さま参加型の看護計画へ。治療計画はクリティカルパスを提示し、患者さまのご了解のもとで、ご自分が受ける医療について意志決定し、権利と責任を果たしながら医療者と共に治療に取り組んでいただいています。

「病氣」の時期に、専門知識や技術を提供できる職業が「看護」であること。私は患者さまと同じ思いに立ち、同じ目線でその方の人生に寄り添えるすばらしい職業だと自負しています。単に職業として資格を生かすことなく、患者さまに満足して頂けるより良い看護を提供するために、知識と技術を磨く「学ぶ」ことを継続していくことと、「感性を磨く」ことは看護者の役割でもあります。

看護部は、今年も今まで以上に職員教育に力を入れ、「安定した経営」のもとで、「安全で安心の医療と看護」そして「温かい思いやりをもった接遇」の提供ができるよう努力してまいりたいと思います。

終わりに当院は2010年4月には新病院が完成する予定です。今後の4年間は横浜医療センターの改革・充実・飛躍の時期として土台作りの第一歩の気持ちで平成18年度を過ごして行きたい。

本年度も昨年度以上に皆様のご指導とご意見をいただきたくお願い申し上げます。



# 地域医療連携 病診連携施設紹介

## 伊東医院

診療科目：産婦人科・内科

当院は戸塚駅東口で産婦人科として開業を初め、現在の副院長で5代目となります。

院長、副院長、共に、前国立横浜病院に勤務しておりましたこともあり、前小坂病院長から、永い病診連携のお付き合いをさせて頂いている次第です。

当院での分娩は、昨年より終了させて頂きまして、産科は主に妊婦検診のみ行なっております。このため、分娩は横浜医療センター産婦人科を始め、関連施設での分娩（セミオープンシステム）を積極的に取り入れております。里帰りの方も対応しております。

また、各種婦人科疾患、不妊、更年期治療 等、内科疾患及び乳癌、子宮癌検診、成人病検診、小児予防接種、等 適宜行なっております。

貴センターには、休日、時間外問わず、緊急の産科対応をはじめとして、小児科、内科、を積極的に引き受けて頂き、また、早急な経過報告を頂き、大変感謝いたしております。

また、貴センター女性外来は、女性医師を希望される方への窓口のみならず、『女性の病』全般の窓口になっており、当院のような町医者的なポジションの産婦人科としてはありがたい限りです。

高齢化、少子化、核家族、情報社会、と共に『病も変化』してくる訳で、いかに開業医もその変化に対し、適切な答えとなる治療計画を提供する事が重要だと感じております。そういった面からも開業医とセンターとの病診連携は今後さらに重要かつ有用なものだと思っております。

連携室スタッフ、パラメディカルの方々はもとより、横浜医療センターの益々の発展を期待いたします。



伊東均副院長（中央左）と伊東亨院長（中央右）



### 伊東医院

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町14番地  
TEL 045-881-0037 FAX 045-871-1460  
診療時間

平日 9:00～12:00(受付11:45まで) 15:30～18:00(受付17:45まで)  
土 9:00～12:00(受付11:45まで) 午後休診  
休診：木・日・祭日

# 地域医療連携室から

## 診療報酬の改定について

経営企画室長 樋口 弥

平成18年度の診療報酬改定が厚生労働省より通知されました。

今回の改定は、診療報酬本体の改定がマイナス1.36%、薬価等の改定がマイナス1.8%、全体でマイナス3.16%と保険医療機関にとって大変厳しい改定となりました。

当院に関連する主な改定内容としましては、1.急性期入院医療に係る看護職員の配置見直し、2.紹介率を要件とする入院基本料等加算の廃止、3.リハビリテーション体系の見直し、4.小児医療に係る評価の充実、5.産科医療に係る新たな評価、6.入院時の食事に係る評価の見直し、7.DPCによる支払対象病院の拡大等が挙げられます。「急性期入院医療に係る看護職員等の配置見直し」につきましては、看護職員配置の表記が改められ、現行の2:1の看護職員配置から、日勤、準夜、深夜勤務帯を通して看護職員1人が何人の入院患者を実際に受け持っているかに改正され、改正後は看護職員の実質配置10:1で運営することとなります。

「紹介率を要件とする入院基本料等加算の廃止」につきましては、医療機関の機能分化・連携に必ずしも十分寄与していないとの指摘を踏まえ、紹介外来加算・急性期入院加算が廃止されました。

### ○看護職員等配置

従前の看護職員配置	点数	
	一般病床	精神病床
2:1	1,209	1,037
2.5:1	1,107	940
3:1	939	800
3.5:1	842	712
4:1	783	658
「看護職員配置2:1」 入院患者2人に対し看護職員1人を 雇用していることを意味		

改定後の看護職員配置	点数	
	一般病床	精神病床
7:1 (1.4:1)	1,555	—
10:1 (2:1)	1,269	1,209
13:1 (2.6:1)	1,092	—
15:1 (3:1)	954	800
「看護職員配置10:1」 平均して入院患者10人に対し看護職員 が実際に勤務雇用していることを意味		

「リハビリテーション体系の見直し」につきましては、理学療法、作業療法及び言語聴覚療法の体系が見直され、新たに4つ(脳血管疾患等リハビリ、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ、心大血管疾患リハビリ)の疾患別リハビリテーション料が新設されましたが、集団療法は廃止となりました。

### リハビリテーション

	脳血管疾患リハ	運動器リハ	呼吸器リハ	心大血管疾患リハ
リハビリテーション( )	250点	180点	180点	250点
リハビリテーション( )	100点	80点	80点	100点
算定日数上限	180日	150日	90日	150日

リハビリテーション( )( )は施設基準で定める

「小児医療に係る評価の充実」につきましては、夜間、休日又は深夜における小児救急医療の充実を図る観点から、深夜における救急医療の対応体制の評価が充実されるとともに、検査、処置等の新生児・乳幼児加算並びに注射の乳幼児加算の評価が充実、さらに小児入院医療管理料(包括点数)の評価の充実が図られています。

「産科医療に係る新たな評価」につきましては、晩婚化による出産の高齢化により、リスクの高い分娩が増加していることから、産科の体制が整っている病院においてハイリスク分娩の妊産婦に対する分娩管理として入院基本料の加算が新設されました。

「入院時の食事に係る評価の見直し」につきましては、食事の提供の実態にあわせて適切に評価することから、1日単位から1食単位の費用を設定して、1日につき3食を限度として実際に提供された食数を算定することとなりました。同様に患者の病状等に対応した特別食(腎臓食、肝臓食、糖尿食...)を提供した場合の算定方法も1日単位から1食単位に見直されました。

最後に、今回の診療報酬改定で「DPC(診断群分類別包括評価)による支払対象病院が拡大」されました。当院は、DPC対象病院の要件である急性期入院医療を提供する病院として具備すべき一定の基準を満たすとともに、前年度の調査協力病院として退院患者にかかる調査結果が評価されてDPC対象病院の承認を受け、本年6月診療分よりDPCによる診療報酬請求を予定しております。

# 栄養管理チーム(NST)活動

## 栄養管理チームの活動内容について

毎度この原宿かわら版を通じて当院の栄養管理チーム(NST)の活動について報告してきた通り、適切な栄養療法を実施することにより患者様の治療効果を高め、生活の質を改善することができます。そこで今回は現在行っている活動内容についてお話しします。



外科医長 佐藤 靖郎

### 院内活動

#### 1. どのようにして栄養療法の対象患者さんを見つけるか？

これには3つの方法が用いられています。一つ目は患者様の身体活動の低下、症状(皮下脂肪、筋肉が痩せた、むくんだなど)が一つでもある場合依頼することになっています。二つ目はアルブミンという値が低い場合、依頼を考えてくださいという連絡が主治医にいきます。三つ目はじょくそうという皮膚の潰瘍のある患者さんを診るチームと一緒に回診して必要な患者さんを見つけています。

#### 2. 依頼が来たらどうするのか？

依頼はすべて栄養管理室に連絡されます。患者さんの情報を集めた後に、週に1度(木曜)に検討会と回診を行っています。これには医師、栄養士、臨床検査技師、薬剤師が加わり、担当看護師から状況報告を受けて、適切な治療法を検討し、主治医の先生に連絡します。また適宜その結果を調べて必要ならば変更します。多くは退院まで続けています。

#### 3. 摂食・嚥下回診(食べること・飲み込むことについての診断・治療です)

月に一度第二木曜日に専門家の先生を院外からおよびして、すべての病棟を回診して、診断・治療を行っています。看護師が食べる・飲み込む訓練をいっています。その活動で口から食事が取れることにより栄養状態が劇的に改善する患者様も実際におられます。また実際に専門的な内視鏡検査も行うことができます。

### 院外活動

以前報告したように、手術後の患者様・ご家族に対して栄養療法の提案を診療所の先生を介して行っており、とても喜ばれています。今後は代謝性疾患(糖尿病など)にもその範囲を広げ、益々皆様にとって役立つ活動を目指していく予定です。

今後とも当院栄養管理チームを宜しく御願い申し上げます。



# お知らせコーナー

## 医療安全管理室より

安全管理担当師長 富田 美和子

『キスして急死』というショッキングな見出しの毎日新聞記事（平成17年12月1日 ロサンゼルス時事）をご覧になった方があるのではないのでしょうか。昨年11月、カナダのケベック州サゲネーの病院が15歳の少女の交際相手の少年とキス後、急死したことを明らかにしたものでした。『犯人』がピーナツと報じていました。16歳の少年は少女が極度のピーナツアレルギーと知らずキスする9時間前にピーナツバターを塗ったトーストを食べていたのです。少女は病院で手当を受けましたが数日後、死亡しました。アメリカでは約150万人が重度のピーナツアレルギーに苦しんでいることも紹介していました。

医療の現場でも食物・薬剤アレルギーに注意がはらわれていますが、薬物アレルギーの見落としから重大な事故になったという報道があります。当院ではアレルギーの見落としを防ぐために、初診受付時や入院時に、食物アレルギー、薬剤アレルギー・その他について患者さま、ご家族から自己申告をお願いするため『問診票』の記入をお願いしています。最も身近な例では採血時のアルコール綿消毒で発赤炎症の報告があります。薬剤の種類によってはアルコール成分を含む溶解液もあり、酒酔いのような感じを経験されるという情報もあります。

患者さまから自己申告していただいた治療・検査に影響する情報は外来や入院カルテに医療情報として記録し、診療の現場で活用しています。患者さまが日頃から注意されていること、まさかこんなことで？と思われること、すでに忘れてしまわれていることも時々ありますので『もっと話そう、もっと伝えよう』の気持ちで、大事になる前に『念のために確認』を全職員で徹底し安全な医療が提供できるようにしていきましょう。

患者情報	
患者氏名：	_____様
1 注意すべき既往歴（有・無）	_____
（具体的に）	_____
2 注意すべき併存疾患（有・無） 気管支喘息（有・無）	_____
（具体的に）	_____
3 病名告知（有・無）	_____
4 体内人工物（有・無） （Pacemaker・血管clip・整形外科金属類・人工弁・人工内耳）	_____
（その他）	_____
5 右記アレルギー（有・無）（コード・薬剤・食物）	_____
（具体的に）	_____
6 禁忌薬剤：	_____
7 禁忌検査：	_____
8 その他	_____
記載日	記載医師





平成18年3月6日(月)から  
**環状4号線(下飯田地区)**が開通しました!  
 戸塚区深谷町~泉区地下鉄下飯田駅付近  
 国道1号と国道16号・大和バイパスが直結!

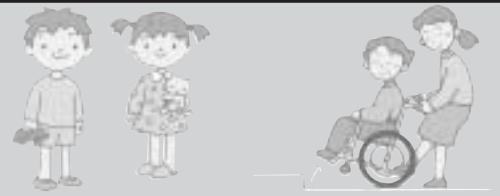
横浜市営地下鉄 下飯田駅及び、  
 相模鉄道いずみ野線ゆめが丘方面  
 からのアクセスが便利になりました。



ボランティア活動

**活動内容**

- ・インフォメーション(案内)
- ・タオルたたみ
- ・花の水かえ
- ・子供の遊び相手
- ・花壇の手入れ
- ・本の整理
- ・車椅子使用者の介助



**活動曜日と時間**

・月曜日~金曜日(休日を除く) 8:30~17:00  
 2~4時間程度

**心構え・その他**

- ・ボランティアは心身ともに健康であることが大切です。
- ・ボランティアは16歳以上の方が対象です。
- ・患者さまのプライバシーを守りましょう。
- ・病院の規則や指示に従って活動します。
- ・活動を根気よく続けることに意義があります。
- ・交通費・食費は自己負担になります。



**病院ボランティアとは**

- ・病院内で、病院職員と協力し合い、患者さまが安全で安楽に入院生活が送れるように、自発的に無報酬で奉仕活動をする人のことです。
- ・医療に関する専門的な知識がなくても、ボランティア自身の経験や技術を活かした活動、誠意ある心からの活動ができることがボランティアです。

**横浜医療センター 病例検討会・研究会開催のお知らせ**

**西横浜整形外科症例検討会**

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時~  
 開催場所 当院大会議室  
 連絡先 日塔整形外科部長  
 045-851-2621(代)

**横浜藤沢消化器疾患研究会**

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時~  
 開催場所 当院大会議室  
 連絡先 小松外来診療部長・松島消化器科部長  
 045-851-2621(代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。



# シリーズ

## 気になる病気

### 自然気胸

呼吸器外科部長 坂本 和裕



自然気胸は若い男性に多い病気で、ほとんどが肺嚢胞(ブラ)の破裂により起こります。しかし最近では高齢者の気胸も増加しており、肺気腫などの合併症が多く難治性のものが多いのが特徴です。一方、女性では月経随伴性気胸やLAM(肺リンパ脈管筋腫症)が隠れていることがあります。注意が必要です。

治療は軽度の気胸では保存的治療が可能ですが、中等度以上では脱気(ドレナージ)が必要となります。

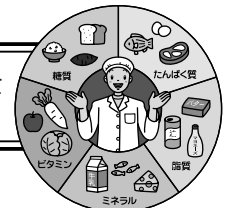


当科では小型脱気装置(写真参照)による通院治療を始めております。しかし高度の気胸や高齢者の気胸は従来通り入院が必要となります。また軽度の気胸でも発症直後に胸水を認める場合には特発性血気胸の可能性があるので注意が必要です。更に発症後数日以上経過している中等度以上の気胸では、脱気後の再膨張性肺水腫に注意が必要です。気胸はドレナージを含めた保存的治療だけでは半数程度の方が再発を起こしてしまいます。再発を起こすたびに次の再発率が増加しますので、当科では2回目以降の気胸の方には胸腔鏡手術をお勧めしております。一般的に胸腔鏡手術でブラのみを切除した場合、再発率が10%以上とされておりますが、当科では吸収性シート(体内で溶けて無くなります)を用いて肺の補強を行っており、再発率は約3%と良好な結果を得ております。手術後の入院期間は2~4日程度です。また、他院での手術後に再発された方にも対応しておりますので、ご遠慮なくご相談下さい。



### 栄養表示の見方を知っていますか？

栄養管理室 主任栄養士  
今井 千恵子



栄養表示とは？健康増進法に基づきルール化された栄養情報

栄養表示とは、冷凍食品などをはじめとする加工食品などの内容包装や添付文書に記載されている、その食品の栄養に関する情報のことです。これは、消費者の健康志向を反映して、平成15年に定められた「健康増進法」という新しい法律に基づき、栄養成分の表示に一定のルールを設け、適切な情報を消費者に届けようという主旨から生まれました。「どんな栄養がどれくらい含まれているのか」、食品を選ぶときの参考や目安にしましょう。

表示の決まりとは？表示する項目、単位、順番などが定められている

表示をする、しないはメーカー側の自主判断になりますが、表示する場合は守らなければならないルールがあります。

容器包装を開かなくても見える場所に読みやすく表示する。

エネルギー、タンパク質、脂質、炭水化物(または糖質、食物繊維)、ナトリウムの5項目は、この順番で必ず表示する。

エネルギーはkcal、タンパク質、脂質、炭水化物はg、ナトリウムはmg(1000mgを超えたらg)という単位の統一。

表示量の誤差は、±20%以内なら許容。

ゼロ表示や「たっぷり」など強調表示の基準を設定。

その他の表示は？必須項目以外の栄養素は情報提供として提示

必ず表示しなければならない5項目以外の栄養成分は、表示義務がありませんが、たとえば「食物繊維入り」などの強調表示を商品名や包装に用いたときは、必ず栄養表示を行わなければなりません。またそれ以外でも、消費者への情報提供としてメーカー側が自主的に表示することもあります。その場合は、必須項目の最後、ナトリウムの下に続いて表示されます。

栄養成分以外は？表示義務はないが枠外に記載することも可能

ポリフェノールなど栄養成分でないもの(栄養素と似たはたらきをする食品因子)に関しては、消費者が栄養成分と混同しないように、枠外に表示することが定められています。ただし、栄養成分でないものの量は、表示義務はありませんので、メーカー側の自主判断となります。

参考文献「最新・栄養キーワード事典」池田書店

# 職 場 紹 介

今回は放射線科 / 消化器科  
の紹介です

## 放射線科

診療放射線技師長 大野 淳

こんにちは 放射線科のオールキャストです。(写真)  
放射線科は、全ての検査において患者さまと接しています。  
患者さまとのコミュニケーションを大事にするよう日頃より心  
懸けております。

放射線科を大きく分類すると

一般撮影部門：一般撮影(胸部や骨の撮影)血管撮影(体内の血  
管撮影、悪性腫瘍の検索、心筋梗塞の治療)胃腸  
や腎臓の造影検査、C T(体を輪切りにし悪性腫瘍  
等の検索)M R I( X線は使用せず、任意方向の  
断層像を撮像、また血管等の撮像)



筆者 前列中央

ラジオアイソトープ

R I 検査部門：アイソトープを使用して、悪性腫瘍の検索、ガンの骨転移検索、心臓の検査、甲状腺の検査治療等  
放射線治療部門：腫瘍に対する電子線、X線の照射治療

読影診断：C T、M R Iの読影診断を椎名放射線科部長が一手に引き受けております。近隣からの紹介患者さまも  
月に60人前後と多く、また、撮影した日にレポートを持ち帰っていただけるので好評を得ております。

本年6月頃より最新鋭のM R I装置が導入予定となりました。簡易脳ドックの再開が予定されております。

また、病院内の医療チームであるケアチームの一員として、技術認定最上のA認定を持った優秀な3名の女性  
技師がおります。安心して最良な画像情報を提供出来るよう努めております。

以上簡単に放射線科の紹介をさせていただきました。我々放射線科は技術のスキルを高めより良い医療を提供す  
るため日々努力をしていきます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

## 消化器科

消化器科部長 松島 昭三

消化器官は中国医学で言うところの五臓(心・肝・脾・肺・腎)  
六腑(大腸・小腸・胆・胃・三焦・膀胱)の内5臓器を占めています(実際  
にはこれに食道と膵が加わる)対象とする臓器の数が多く、それだ  
け疾患の種類も多岐に亘るのが、当科の特徴と言えるかもしれ  
ません。さて当科のメンバーですが、小松外来診療部長の指導の下、  
スタッフ5名(小松・松島・清水・岸野・塚田)、レジデント2名(野登・  
斉藤)の計7名で診療にあたっております。消化器科というと検査  
ばかりやっている科というイメージがあるかもしれませんが、実  
際年間の検査件数は上部内視鏡3,000件、下部内視鏡800件、超音  
波検査3,700件などとなっておりますが、検査は目的ではなくあ  
くまでも治療への入り口であることを肝に銘じて診療にあたっ



筆者 前列右から3人目 同列右から2人目が小松外来診療部長  
ております。本年度はMRIが最新のものに更新される予定で、胆膵領域に関して、従来の内視鏡的胆膵管造影に比  
して、より少ない患者様の負担で精密な診断が可能になるものと考えております。

# 看護部だより

## 一年を振り返って

東3階病棟 長瀬英樹



看護師になって患者さんとのふれあいを楽しみにしていた部分もあった。しかし、配属された病棟は脳神経外科で、特に重症者や寝たきり患者の多いチームでもあったため患者さんとのふれあいは最初の頃はほとんどなかった。その代わりとっては何だか患者さんの家族との関わりが多く、最初はとまどうことが多かった。「この点滴は何のためにしてるの?」「この薬は何?」「良くなっているのですか?」「本人は言っていることが理解できているのですかね?」などなど。最初の1~2ヶ月は、家族の方と顔を合わせるのも怖くなった時期があった。もし自分が患者の家族の立場であったならば、医療者に病状がどうなっているのか聴きたくするのは当然であると考えようになり徐々に家族の方に説明するのが責務であると感じるようになってきた。

日勤がある程度慣れてきた1~2ヶ月後程度すると初めての夜勤を迎えた。昼間の病棟しか知らなかったので、とてもドキドキとして病棟に向かった事を今でも覚えている。まだ日勤でさえ物品の位置や日々の業務、さまざまな処置などにわからないことばかりであったが、深夜勤務当日となった。病棟は真っ暗で、静寂さに包まれ、心電図モニターの音と時々呼吸器の音が鳴り響いていた。医療者や患者の家族が行き交う廊下には少し車いすがおいてある程度で閑散としていた。心の中では何も起こらないようにということを祈りながら業務に当たり、先輩の助けを借りて何とか夜勤を終えることができた。白衣から着替えて外に出るといつもよりまぶしい太陽が印象的だった。

一年間を振り返ると、プリセプターをはじめ多くの先輩に日々様々なことについて教わり、フォローをしてもらい過ごす事ができたと思う。壁にぶつかったときには相談に乗ってくれたり、誤っていることに関しては時に厳しく時に優しく指摘してくれた。また、新人同士、仲間の存在もとても大きいものであった。勤務後に食事をしながら、お互いの悩みを打ち明けたり職場以外の話で盛り上がりたりと、とても良好な関係を築けて来たことが一年間の大きな支えとなった。

まだまだ看護について一步踏み出したばかりで看護観等しっかりしたものはないが、勉強していかなければいけないことが山ほどあると実感している。それには目に見える技術的なものももちろんであるが、目にはみえにくいアセスメント能力や知識などがもっと必要である。ステップアップするには欠かせないことが今年一年でより一層明確になった。看護師としての一年間を、ようやく終わろうとしている。

来年からは自分自身の理想の看護も創造しながら業務に当たりたいと思っているので一緒に理想の看護を見つけていきましょう。

## 一年を振り返って

西1階 日高 樹美



私が、横浜医療センターへ就職して早一年が経とうとしています。

最初の三ヶ月ぐらいは、病棟の業務を覚えるのに必死な日々を送っていました。自分で何回同じことを聞くんだ!!という思いを抱きながらも、先輩ナースに聞き必死に覚えようと努力しました。

最初は、プリセプターの後についての業務を行なったのでまだ責任感というのを実感してなかったように思います、しかし、ついに一人で患者さん、しかも学生の時のように一人の患者さんではなく十何人の患者さんを受け持つ時期がきた時に初めて看護師という責任の重さを実感しました。緊張感に押しつぶされそうな毎日の中で、ただ必死に業務をこなしていくことでいっぱいでした。業務をこなしていく中でなかなか思いどおりに、進まず落ち込んだり先のことを不安に思うことも何回もありました。焦ってミスをしてしまうことも多々ありました。そんな時に、深夜でプリセプターと一緒にあった時に「もう私いっぱいなんですけど...」と思わず口にしたとき、「まだ時間はあるんだからゆっくりやればいいんじゃない」という言葉をかけていただいたことから少し気持ちが楽になりました。自分の思う通りにうまく仕事が進まなくても、一つのことを確実にこなしていこうと心に決めマイペースでここまでできた気がします。

また、自分が困った時にすぐ相談できる先輩ナースの存在も新人ナースには、とても心強い支えとなりました。迷って先輩に質問した時自分で考えさせる時間をくれたこと、何かと気をかけて「大丈夫?」と声をかけていただいたこと、不足してる部分を丁寧に説明していただいたこと、仕事のもれがないかチェックしていただいたことなど私に学びの機会を与えて下さいました。

業務にも慣れ、少し余裕が出はじめてから自分で何でもだろうという疑問も出てきて自分で勉強する時間もできました。業務を覚えていくうちに、次々とこれまで考えたこともないような疑問が生じ自分でも勉強しようという意欲がでてきたのだと思います。

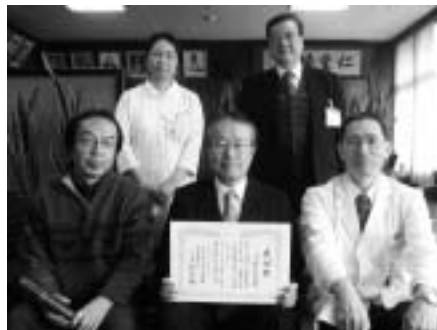
就職してから思ったことは、学生でなくても日々勉強をしなければいけないのだなということです。患者さんが現在抱えてるリスクを避けるための、また苦痛を少しでも軽減させるための一番いい介入はなにかを日々考えていかなければならないと思いました。

これから二年目に入り、これ以上に責任の重いこともあると思います。しかし、心強い先輩ナースが私の病棟にはいます!! 時には優しく厳しくもある先輩からの励まし、日々勉強しようというこの心を忘れずこれからも頑張っていこうと思います!!

# 行事等紹介

## 感謝状贈呈

平成17年8月30日まで東5階病棟にご入院されていた故小野美枝子様のご遺志によりご遺族から、車椅子・褥瘡用マットを多数ご寄付いただいたことから、平成18年3月16日に長男辰夫様・二男俊太様をお招きし、感謝状を贈呈しました。



### お礼のこトば 江頭 真理様

入院中お世話になった先生方、看護師・助産婦の皆さんをはじめ、配膳や病棟のおそうじして下さった方々、すべての病院関係者の皆様への感謝の気持ちです。

また入院患者さんを含め、様々な理由で病院に来られる方々が、何気なく見て、少しでも楽しんで頂けたら、と思っています。

先日、知人のお見舞に伺った際、敷地内に植えられた花を見ました。寒い時期で大変だったと思います。ありがとうございました。

ずいぶん日差しもやわらかくなり、春を感じる今日この頃です。

病院の入り口と中庭にパンジーやビオラ、ポリアンサが一層春を引き立てているのを皆さんはお気づきでしょうか？このお花は西1階病棟で出産された江頭真理さんのご実家より寄付していただいたものです（昨年も寄付していただきました）。江頭さんは妊娠初期から切迫流産で入院され、途中他院に母体搬送なった経緯もありましたが、当院で無事に男の子を出産されました。長期入院でストレスも多かったのにも関わらず、彼女の明るさとユーモアには私たちは癒され、そして母親の強さを私たちは学ばしていただきました。

今年もこのようにお花を届けてくださり、職員のみでなく、当院に来られる患者様にとっても入院生活または通院の際に心を和まされるのではないかと思います。

江頭真理さん、お父様の山田慶二さんありがとうございました。

西1階病棟看護師長 篠原祐子



花苗をいただいた「山田慶二様」（後列中央）と山田様のご長女「真理さん」とお孫さんの「杏星ちゃん」（前列左）

## ハンドベルコンサート

3月17日ハンドベルコンサートが開催されました。横浜英和女学院の70名の高校生が入れ替わり演奏してくれました。

娘や孫のような年頃の生徒さんの演奏に入院患者様は点滴しながら、または車椅子で、参加くださいました。

小児科外来に通院のこどもたちも初めての大きなハンドベルにびっくりでした。

ハンドベルのやさしい音に、クラシック、映画音楽、なつかしのメロディーも新しい曲のように聞こえ、楽しい時間でした。



副看護師長 寺沢 秀代



町田副部長より  
横浜英和女学院の学生さんに花束贈呈

## 第41回 卒業式

平成18年3月3日（金）  
看護学校 第41回生32名が卒業しました。

### 3年間のおゆみ

<戴帽式>  
入学して半年、  
ナースキャップを戴きました



<楓葉祭>  
文化祭で、まとめあげた  
看護研究を発表しました



<体育大会>  
クラス全員で力を合わせて  
頑張りました！



<卒業式>  
学校長先生から卒業証書を戴きました



あっという間の3年間でした。学習する内容の多さに負けそうになったこともありましたが、仲間との信頼関係や協調性を学ぶことができました。3年間で学んだことをいかし、これから社会人として頑張りたいと思います。お世話になりありがとうございました。 横浜医療センター附属看護学校41回生一同

## 第8回日本医療マネジメント学会学術総会の紹介

第8回日本医療マネジメント学会学術総会  
事務局長（統括診療部長） 宇治原 誠

平成18年6月16日、17日に第8回日本医療マネジメント学会学術総会が、みなとみらいの「パシフィコ横浜」で開催されます。学術総会の会長を、当院の高橋俊毅院長が勤めます。また学術総会全体の運営を当院が中心となって行います。これは当院にとって大変な名誉なことであり、大盛況な学術総会になるよう職員一同、準備をしているところです。



日本医療マネジメント学会は、前身はクリティカルパス研究会で、その後、医療全般を研究する学会に成長しました。特に医療の質、安全、効率の向上、連携については大きな成果を産み、学術総会、各種セミナー、研修会、著作物を通じて発表し、医療関係者に啓蒙することで、日本の医療の質と安全の向上に多大な貢献をしてきました。学会員は現在4600名を超え、日本最大級の医療系の学会となっています。

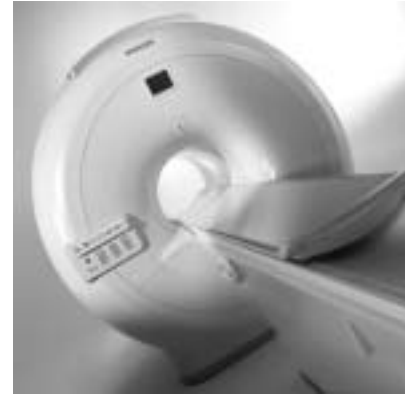
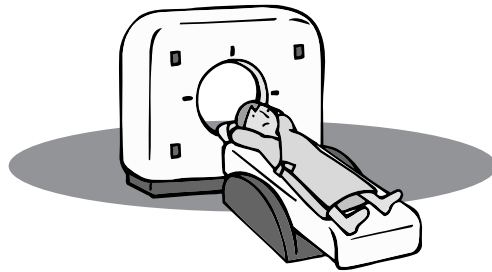
今回の第8回学術総会のメインテーマは、「医療の安全と質～医療・介護提供体制の改革をめぐる～」です。今年は介護保険と医療保険がどちらも改訂される年であり、第8回学術総会での発表、講演、シンポジウム、パネルディスカッションは、今後の日本の医療の方向性を示すものとなります。また、この学術総会では、医療を含む市政の改革について、中田宏横浜市長に講演をお願いしております。さらに、市民公開講座として、レモンちゃんこと落合恵子氏に、ご親族の介護の体験をもとに講演いただくことしております。医療関係者の方にはぜひ、この学術総会への参加をお願いしますとともに、一般の方には、市民公開講座にご来場いただきたくよろしくお願い申し上げます。

# MRI装置が更新されます

懸案でありました当院MRI（磁気共鳴画像診断）装置の更新が決定いたしました。新しく導入予定の装置は1.5T（テスラ）の磁場強度で、最新のアプリケーションを備えたものとなります。急性期脳梗塞の診断に欠かせない頭部拡散強調画像は勿論ですが、現在トピックとなっております躯幹部の拡散強調画像も撮影が可能となります。脳領域では脳機能解析も可能です。両側乳腺撮影が可能となり、表在病変や関節等の高分解能撮影が可能なマイクロスコープコイルを初めとした各種コイルも導入する予定です。全身のMRA（MRangiography）やMRCP（MR cholangiopancreatography）も従来よりも一層の高画質の検査が可能となります。新MRI装置は6月頃から稼働開始を予定しております。なお新MRI搬入据え付け中も従来のMRI装置が稼働いたしますので、MRI検査はこの間も支障なく行えます。最終的な稼働開始が決定致しましたら、改めてご案内申し上げます。



放射線科部長 椎名丈城



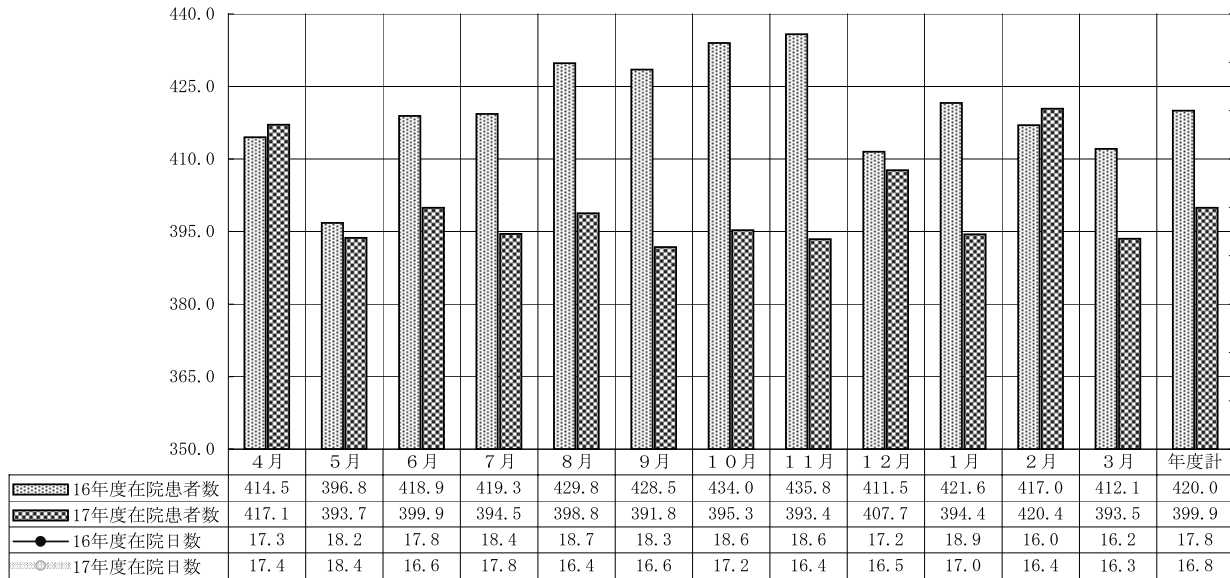
## ◆◆◆ 医師の人事異動 ◆◆◆

(H18.1.1~H18.4.1)

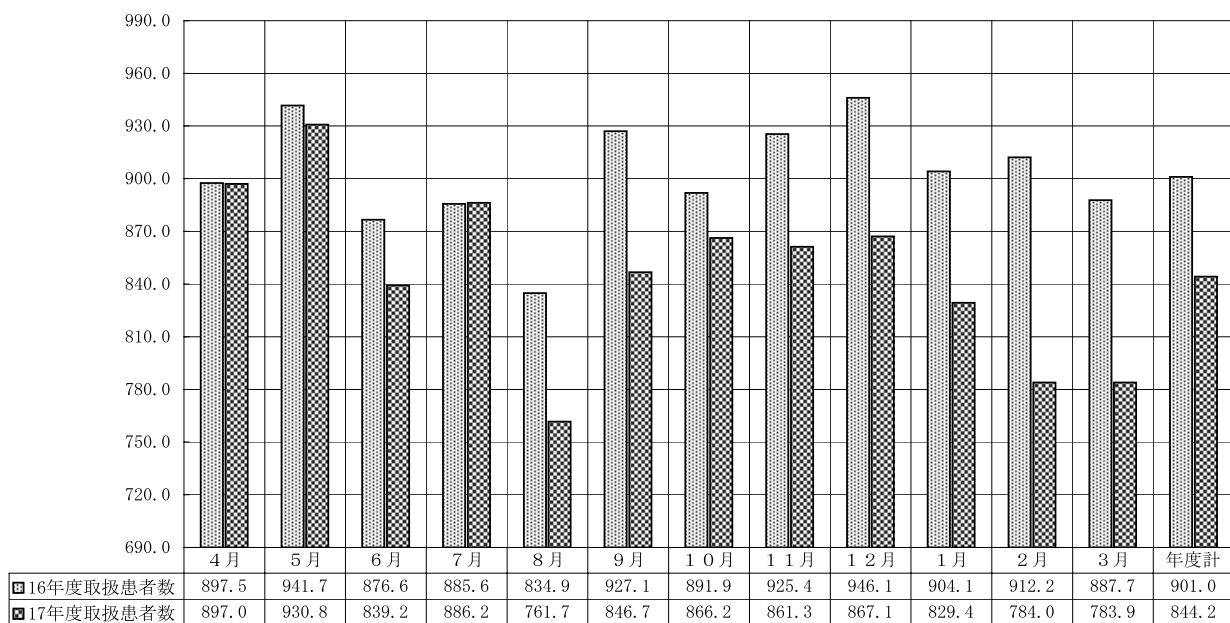
退職者				採用者		
発令年月日	氏名	職名	退職後の施設名	発令年月日	氏名	職名
平成18年2月28日	松永成生	脳神経外科医師		平成18年3月1日	岡田 富	脳神経外科医師
平成18年3月31日	青崎正彦	副院長	開業	平成18年4月1日	武川吉和	精神科部長
"	小澤篤嗣	精神科部長	神奈川県立精神医療センター-芹香病院	"	泉二恭輔	アレルギー科部長
"	大野美香子	アレルギー科部長	横浜市立大学医学部附属病院	"	鏡木陽一	小児科部長
"	伊部正明	小児科部長	開業	"	磯崎仁太郎	診療内科医長
"	眞壁陽子	内科医長	家事従事	"	國府秀俊	整形外科医長
"	上木英人	神経内科医長	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	"	土井 宏	神経内科医師
"	松本 裕	呼吸器科医長	神奈川県立循環器呼吸器病センター	"	山川 泰	呼吸器科医師
"	三谷秀俊	整形外科医長	湘南第一病院	"	櫻林佐知子	循環器科医師
"	米村文雄	循環器科医師	慈誠会前野病院	"	関口 章子	アレルギー科医師
"	浅見由希子	アレルギー科医師	横浜南共済病院	"	小林慈典	小児科医師
"	大瀨有子	小児科医師	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	"	原 良紀	小児科医師
"	牧野洋知	外科医師	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	"	平井 綾	小児科医師
"	葉梨大輔	整形外科医師	住友重機械健康保険組合浦賀病院	"	榎本聡子	小児科医師
"	中川牧子	レジデント	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	"	松田悟郎	小児科医師
"	田部井弘一	レジデント		"	須田彩子	レジデント
"	遠藤あかね	レジデント		"	齋藤大祐	レジデント
"	山本都美	レジデント		"	徳久元彦	レジデント
"	金澤さやか	研修医	東京医科歯科大学	"	永島和貴	レジデント
"	須郷慶信	研修医		"	篠田圭介	レジデント
"	出島 徹	研修医	焼津市立総合病院	"	百瀬葉子	レジデント
"	吉田佐知子	研修医		"	今井えりか	研修医
"	渡邊 勝	研修医		"	須澤直木	研修医
				"	大石季美江	研修医
				"	高瀬 薫	研修医
				"	中村 淳	研修医
				"	中山裕子	研修医
				"	一万田充洋	研修医
				"	岩瀬由紀	研修医
				"	瓜生康浩	研修医
				"	小田真由美	研修医
				"	川原 団	研修医
				"	高橋秀聡	研修医
				"	瀧澤延喜	研修医
				"	西上真由	研修医

# 患者数の動向 ~ 1日平均 ~

入院患者数年度別月別比較 (H18年3月31日現在)



外来患者数年度別月別患者数 (H18年3月31日現在)



## 編集後記

今号でご紹介させて頂いた伊東医院へ、原稿依頼のため初めてお邪魔させて頂いたときの事です。非常に懐かしさを覚える木造の建物、ドアというよりも木製の扉を軽く押し開けて中に入ると、清掃の行き届いた板張りの床。この空間だけ時間が止まっているようで、待合室で順番を待たれている妊婦さんも、安堵されて静かに目を閉じて、夢でも見てるのでしょうか。初めてお会いした院長先生も、二度目にお邪魔した時にお会いした副院長も、初対面にもかかわらず気さくにお言葉をかけて頂き受付にいらっしゃった女性のスタッフの方々も、笑顔を絶やさず、こちらの問いに一つ一つ答えて頂きました。建物が優しいと、そこに居る人も優しくなるのでしょうか。ところで、二度目にお邪魔した時に、玄関そばの石柱に嵌められた銅板のようなものが目に入り、そこにはこのようなことが書かれていました。 武笠 勉

横浜市認定歴史的建造物  
**伊東医院**  
 建築年1925(大正14)年  
 住居棟建築年1927~1928(昭和2~3)年  
 2003 横浜市

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科・初診	循環器・消化器		交代医師	関口 章子	泉二 恭輔	△:午後のみ診療 ▲:紹介状持参の方のみ
内 科	高木 佐知子	宇治原・高木	鈴木 信周	宇治原 誠		
神経内科	土井 宏	△高橋 竜哉	検査日	土井 宏	検査日	(火)1・3・5週、宇治原 2・4週、高木
呼吸器科	椿原 基史		検査日	山川 泰	検査日	椿原 基史
消化器科		塚田 百合子	松島 昭三	清水 健	小松 達司	《循環器科新患当番医》
循環器科	巽 藤緒	岩出 和徳	田中 直秀	青崎 正彦	岩出 和徳	(月)第2[田中]・第4[岩出]
アレルギー科	加藤 文二	△加藤 文二	初診(循環器)	△泉二 恭輔	△関口 章子	(火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)加藤
心療内科	検査日	磯崎・須田	検査日	武川 吉和	検査日	<火曜日>奇数週(小児心身症)磯崎・偶数日(女性心身症)須田 / <木曜日>(認知症鑑別・一般心身症)武川
精神科	立山 哲也	武川 吉和	立山 哲也	磯崎 仁太郎	武川 吉和	※月～金;新患受付は10時まで受け付けます。
小児科	鍋木 陽一	渡辺 由佳	鍋木 陽一	小林 慈典	鍋木 陽一	
外科	石田 華	原 良紀	能本 紀子	榎本 聡子	平井 綾	◇:第2・第4水曜日 予約制 ◆:完全予約制 ◎:乳癌外来(火・木)完全予約制
呼吸器外科					坂本和裕・正津晶子	(金曜日午前)正津晶子
整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	日塔 寛昇	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30～10:00
形成外科	村瀬 知男	国府 秀俊	村上 恭平	村瀬 知男	村瀬 知男	
脳神経外科	村上 恭平	永島 和貴	篠田 圭介	永島 和貴	篠田 圭介	△:手術日のため午前のみ
心臓血管外科	高瀬 税	△高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税	高瀬 税	急患のみ(手術日) ▲ 交代医師 竹本 安範 急患のみ(手術日) 藤津 和彦 市川 輝夫 第2・4週(火)宮原 宏輔
皮膚科	東館 雅文	手術日	検査日	益小原 幸宏	東館 雅文	
泌尿器科	坪井 廣美	松井 矢寿恵	坪井 廣美	坪井 廣美	坪井 廣美	
産婦人科	松井 矢寿恵	百瀬 葉子	松井 矢寿恵	百瀬 葉子	松井 矢寿恵	
眼 科	百瀬 葉子				百瀬 葉子	
耳鼻咽喉科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康	
放射線科	中村 秋彦	外村 光康	中村 秋彦	乗杉 輝彦	永田 順子	(受付)初診・予約外再診とも 月～木曜日 8:30～10:00 新患・急患のみとなります。金曜日 8:30～9:30
歯科口腔外科	永田 順子	紅露 有子	外村 光康	平岩 美美子	中村 秋彦	
小児科	設楽 幸治	設楽 幸治	設楽 幸治	設楽 幸治	急患・新患のみ(手術日)	
外科	中矢 かおり	中矢 かおり	中矢 かおり	中矢 かおり	山田 昌宏	※注①月曜日 8:30～11:00【完全予約制】 ※注②火・金曜日13:30～15:00【予約は内線4900まで】 ※注③診察日は放射線科にお問い合わせ下さい。
専門外来(午後のみ)	山田 昌宏	山田 昌宏	手術日	榎原 敦子	山田 昌宏	新患(紹介状又は、診療情報提供書を持参して下さい)。【可能な限り】 新患は、火・木曜日の午前8:30～11:00まで。再診(完全予約制)。
小児科	榎原 敦子	榎原 敦子			榎原 敦子	
外科	栗原 須生美	中山 優子	日下部 きよ子 (甲状腺外来) ※注③		中山 優子 ※注②	※注④横浜市乳癌検診の受付:14:00～16:00乳癌検診 ◎:脳ドックは現在実施していません。
産婦人科	塩入 重彰	塩入 重彰	手術日	塩入 重彰	塩入 重彰	※注⑤担当医:[外科土井・皮膚科坪井・婦人科紅露] 女性のための総合診療をめざす外来です。 完全予約制ですので電話で予約をして下さい。婦人科は非常に混雑しているため受診を希望される方は、予約の際に必ず申し出て下さい。心療内科受診を希望する方は、女性診療外来を受診して予約を取る必要があります。お手数をおかけしますが、よろしくお願致します。
小児科	丸山 貴子	丸山 貴子		丸山 貴子	丸山 貴子(午前のみ)	※注⑦ 毎週火曜日午後 必ず事前に連絡して下さい。
小児科	飛達(福山)第2週 第4週		神経(大浜)第 2・4週 喘息(石田)	乳児検診(交代 医師) 飛達(能本)	循環器(鈴木) 予防接種(交代医師)	小児循環器科:第1・3週金曜日
小児科	アレルギー(小林)	腎(伊東)※第一週				
小児科	横浜市乳がん 検診 ※注④	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来		
小児科			スキンケア外来 ※第2・4週			
小児科	※注⑤					
小児科	母親教室			母乳外来		
小児科	補聴器外来 腫瘍外来	アレルギー外来		補聴器外来	学童外来	
小児科						
小児科		ペースメーカー外来 ※注⑦				

初 診 受 付: 平日8:30～11:00  
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり  
再診(予約外)受付: 平日8:30～11:00  
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり  
休 診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わる箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。  
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

